

3か条

家族で話し合っておきましょう

①

日ごろから、地震・津波・洪水・土砂災害が発生した場合に備え、それぞれの避難所や避難経路を家族と話し合っておきましょう。



情報確認は、安全な場所に避難してから

②

テレビやラジオの情報を待っていると、逃げ遅れることがありますので、避難所や高台に避難してから確認しましょう。



避難の際には、非常持ち出し袋も忘れずに

③

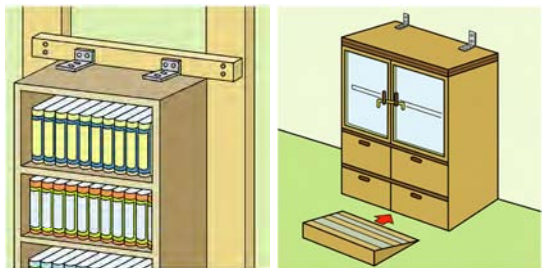
避難しても、すぐに行政等から食料や生活用品が届くわけではありません。3日間自力で生活できるよう、非常持ち出し袋も忘れずにもっていきましょう。



地震

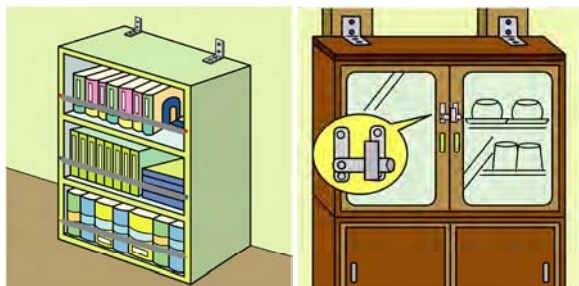
～日頃からの対策が重要です！～

■たんす、戸棚、本棚の転倒・移動防止



- L字型の金具や、太い針金を利用して、壁に家具を固定しましょう。
- 引き出しの飛び出しを防ぐには、下の隙間に板やフェルトなどを敷いて、引き出し方向を斜め上にさせましょう。
- 天井と家具の間を「つっぱり」形の転倒防止器具は、壁側の奥にセットしましょう。

■戸棚、本棚の中身の落下防止



- 戸棚はひもやゴムバンドなどを掛けて中身の飛び出しを防止しましょう。
- 開きの棚には止め金具をつけ、食器などが飛び出ないようにしましょう。

■テレビ等の飛び出し防止



- 高い場所には置かないようにしましょう。地震の大きさによっては、飛んでくる場合もあります。
- 樹脂製の免震シートは耐加重と耐用年数を確認してください。極端に重いものは要注意です。

■ガラスの飛散防止



- 市販の透明フィルムを説明書をよく読んでしっかり張りましょう。
- 粘着テープを用いる場合、サッシ部分まで張ってください。ガラス部分だけでは塊となって落ちてきます。